

## 第 17 回地域がん診療連携拠点病院旭川医科大学病院主催市民公開講座

【皆さまから頂きましたご質問に回答いたします】

○会社の健診では PSA の検査は入っていません。個人で気にするしかないのでしょうか。早期発見するためのポイントは？

◀回答▶一般に 50 歳以上の男性に対して PSA 検査による前立腺がん検診を実施することが推奨されています（日本泌尿器科学会 診療ガイドライン 2023 年版）。

市町村によって検診の実施状況は異なりますが、旭川市や東川町などは行っていません。お住まいの市町村にお問い合わせください。なお、人間ドックなどオプションでがん検診を受けることも出来ます。50 歳を過ぎたら PSA 検査をご検討ください。

○前立腺肥大症と診断され、しばらく治療をしていましたが今は治療していません。今後体に異常がおこりますか。

◀回答▶前立腺肥大症が前立腺がんに変化するわけではありません。ただしどちらも 50 歳過ぎから罹りやすくなりますし、前立腺肥大症と前立腺がんが同時に起きることもあります。前立腺肥大症は前立腺が肥大することにより尿道が圧迫されて、排尿障害をきたす病気ですので、症状があるようでしたら適切に治療を受けることをお勧めします。

○前立腺がんと睾丸の痛みは関係あるのでしょうか。

◀回答▶一般的に前立腺がんでは睾丸に痛みが出ることはありません。症状に関しては通院中の病院によくご相談ください。

○前立腺がんになる、または進行する 食事に気を付けることはありますか？

◀回答▶前立腺癌の危険因子は、50 歳以上、父親や兄弟に患者がいる、動物性脂肪の過剰摂取、肥満（BMI 30 以上）、喫煙、飲酒、糖尿病、メタボリックシンドロームなどが挙げられます。

○前立腺肥大症で通院し、都度、尿の検査を受けています。尿沈渣、白血球、赤血球、扁平上皮等の数値で前立腺がんの症状はわからないものですか？

◀回答▶一般的に尿検査では前立腺がんの診断は困難です。前立腺がんがご心配な場合は通院中の病院で PSA 検査についてご相談されることをお勧めします。

## ○膵臓がんの早期発見、検査方法はまだ難しいのですか？

◀回答▶膵臓がんを早期に発見できる検診や検査方法はまだ難しいのが現状です。

すいかんないにゆうとう  
血縁のある家族に膵臓がんになった人がいること、糖尿病や慢性膵炎、膵管内乳頭

ねんえきせいしゅよう

粘液性腫瘍（IPMN）にかかっていること、喫煙や飲酒、肥満などが膵臓がんを発生するリスクを高めることがわかっています。なお、両親、兄弟姉妹、子どものいずれかで膵臓がんになった人が2人以上いる場合を家族性膵がんといいます。家族性膵がんの家系の人は、そうでない人よりも膵臓がんが発生するリスクが高いことが分かっており、早期診断や治療のための調査や研究が行われています。

膵臓は、がんが発生しても小さいうちは症状が出にくく、早期の発見は簡単ではありません。進行してくると、腹痛、食欲不振、腹部膨満感（おなかが張る感じ）、黄疸、腰や背中痛みなどが起こります。その他、急に糖尿病が発症することや悪化することがあり、膵臓がんが見つかるきっかけになることもあります。ただし、これらの症状は膵臓がん以外の理由でも起こることがありますし、膵臓がんであっても起こらないことがあります。心配な症状がある時は早めに医療機関を受診されることをお勧めします。（がん情報サービスより）